

□には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホーム第二朋寿

日 付 平成16年12月14日

評価機関名 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

評価調査員 老人保健施設での相談援助業務歴 5年
病院（老人病棟）での看護業務歴 18年

[自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）](#)

[評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）](#)

[事業者のコメントを見る
（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）](#)

外部評価の結果

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

- ・ 職員の挨拶が気持ちよく、笑顔も多く見られたことは入居者にとっても好ましいと感じられました。
- ・ 3ユニットの内、4 Fのユニットは家庭的な感じが良く出ていて好感が持てました。
- ・ 新倉敷駅前という立地は、利便性が高く評価できます。
- ・ 生活全体の印象は、自由さが感じられ、好感が持てました。
- ・ 管理者並びに職員からは熱心さが感じられました。

特に改善の余地があると思われる点

- ・ 1ユニット当たり2ヶ所のトイレは少ないのではないのでしょうか。
- ・ 改修の建物であるため限界もあると思われますが、全体的に硬い印象が強いので、家庭的に柔らかくする工夫が必要ではないでしょうか。
- ・ 殺風景な居室が多く見られたので、もう少し個性が見られるような部屋作りを意識されてはどうでしょうか。
- ・ 居室のドアの覗き窓は、何らかの方法でプライバシーへの配慮が望まれます。
- ・ 階段のシャッターについては、普段は閉められていると思われますので、何らかの改善が必要ではないでしょうか。
- ・ 玄関の施錠についてはデイスサービスとの兼ね合いもあると思われますが、検討されてみてはいかがでしょうか。
- ・ 食事が材料で業者から供給されていますが、もう少し入居者、職員で買い物等を実施されてはどうでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	グループホームの理念を「出会いを大切に、笑顔あふれるホームづくりを目指し、地域社会に奉仕」とし、更に今年度の方針として、「気付き、思いやり」を掲げてグループホームとしての方向性を確認されていました。 また、健康に穏やかに、入居者のペースや思いを大切にしてお過ごしいただくことを目標として、取り組まれています。 さらに、利用料の支払いやオムツを家族による持込にして、面会の機会をより多く確保するなどについても取り組んでおられました。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		○
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		○
4	建物の外周リや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	入居者と一緒に室内の飾りつけなどを行っています。また、季節感が感じられるような装飾を心がけています。調査当日には、ススキを入居者と一緒に採りに行って飾るなどされていました。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議		○
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		○
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	居室のドアの一部にある覗き窓を、ユニットによっては暖簾で隠すなどの配慮が見られましたが、全ユニットにおいてそのような取り組みをされると、さらに良くなるのではないのでしょうか。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	事故報告書があり、経過等の記入があります。事故やトラブルを契機に再発防止について検討し実践されています。 会議の後には勉強会などを開催して資質の向上を図っています。		